

(1)本時の指導目標

- ・ 植生の種類、優占種を理解している。 【知識及び技能】
- ・ 実験データから被度、頻度を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・ 実験データから求めた被度や頻度から、自ら考えその地点の植生を示し、科学的に探究しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

(2)本時の手立て

- ・ スプレッドシートも用いて、前時の実験データを班で共有し、クラス全体の植物種ごとの被度と頻度を記入させ、表を完成させる。
- ・ 各班のデータから頻度の計算をさせ、優占種は何か考察を行う。

(3)教材

教師 教科書「生物基礎」(啓林館)、プリント、ipad  
 生徒 教科書「生物基礎」(啓林館)、プリント、chromebook

(4)学習の展開

	○学習活動	時間 配当	学習 形態	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入	○前回行った観察実習のプリントから、地点1、地点2でどのような植物が生育していたか確認する。	3分	一斉	・ 各班のデータから植物種が共通していることに気づかせる。	○植生の種類、優占種 の関係を理解している。 プリント記述 【知識及び技能】
	めあて：方形区法を用いて植生を調べ、被度や高さから優占種をもとめる。				
展開	○前回のデータから被度を求めさせる。	7分	個別	・ 前回のスケッチで描いた植物の面積を目算でとることを促す。	○実験データから被度、頻度を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】
	○被度を班で共有し、班の平均被度と草丈を求めスプレッドシートに記入させる。	5分	グループ	・ 班の平均被度は整数、クラスの平均被度は少数第1位まで出すように確認させる。	プリント記述 スプレッドシート記入
	○スプレッドシートに入力した班ごとのデータから8班分の平均被度と平均草丈を求めさせる。	10分	グループ	・ 頻度は数値ではなく、枠数で計算することを確認させる。	○実験データから求めた被度や頻度から、自ら考えその地点の植生を示し、科学的に探究しようとしている。【学びに向かう力・人間性】
	○頻度の求め方を説明し、8班のデータから頻度を求めさせる。 ○求めた被度、頻度から優占種を考察し、さらに考察②～④を記入させる。	10分 5分	グループ 一斉	・ 求めた値に従って優占種を求めるように促す。	プリント記述
まとめ	○考えた解答を発表し、正解を確認する。	5分	一斉		